

たきざわ通信

事務連絡
平成 25 年秋号

春日部市議会議員
滝澤 英明

URL : www.takizawa-hideaki.jp/

たきざわ英明後援会事務所 〒344-0063 春日部市緑町 6-14-34 TEL・FAX 048-736-7832

ご挨拶



皆様には、日頃より大変お世話になり感謝申し上げます。
平成 25 年度も昨年に続き春日部市議会で議会運営委員会委員長、並びに「新政の会」の幹事長を務めさせていただいております。
9 月定例議会では、平成 24 年度決算も承認されました。景気は回復傾向にあるものの、歳入では税収（市税など）の大きな伸びは期待できず、歳出では高齢化の進行などにより、医療費など社会保障関係経費が益々増大すると思われまます。さらに、市立病院の再整備など大きな事業も今後予定されています。将来を楽観することなく、中長期的な展望を踏まえた財政運営が必要であり議会でもチェックして参ります。私たち市民にとって、何が重要で何を優先すべきか、限られた予算（市の財政）をどのように使うか、皆様のご意見を伺いながら活動してまいります。

春日部市立病院再整備の進捗状況について

平成 24 年度に基本設計も終了し、平成 25 年度現在、順調に実施設計を進めております。来年 3 月までには実施設計を終了し、平成 26 年夏ごろ新病院着工予定です。平成 27 年度後半には、竣工予定（完成）です。
現在市立病院の許可ベッド数は 350 床ですが、13 床増床が（緩和ケア病床 10 床、NICU 3 床分）認可され新病院は 363 床となります。



新病院の防災計画

- ・大災害等の災害時にも、最低でも 3 日間は病院機能が単独で運営できるよう施設整備を進めます。
- ・対地震時も構造体は損傷は生じず、建物機能がほぼ維持され、主要業務、活動が可能となる免震構造を採用します。
- ・受電、非常用発電機、ガス発電機による電気供給の 3 重化を図ります。これにより、電気遮断時でも契約電力の 50% 以上を確保します。
- ・受水槽により 3 日分の水の確保をします。
- ・医療用ガスを 7 日間確保します。
- ・災害時には、多くの方を治療するため既存スペースを転用できる計画とします。例えば、講堂にあらかじめ医療用ガスの設備を設置、病棟 4 床室を 6 床室に転用可能とする。また、外来スペースや通路などを転用して治療ができるようにするなど、エリアごとに災害時に転用出来るよう工夫します。

定例議会一般質問

H25年6月

1. 石川市長の今後の市政運営について

H25年9月

1. 今後の都市計画道路のあり方について

- (1) 本市における都市計画道路の現状について
- (2) 社会情勢の変化に伴う都市計画道路の見直しの必要性について
- (3) 今後の都市計画道路の整備方針について

2. 印刷業に従事する従業員の胆管がん発症の現状と労働災害について

- (1) 胆管がんの発症の現状と労働災害について
- (2) 胆管がん検診の実施について
- (3) 胆管がん検診の情報提供について



春日部市小・中学校耐震補強工事

耐震補強工事の状況

年 度	対 象		中 学 校 (棟)		年 度 計 (棟)	耐 震 化 率 (%)
	小 学 校 (棟)		校 舎	体 育 館		
平成22年度以前	8	2	4	1	15	51.6
平成23年度	0	5	1	4	10	58.2
平成24年度	10	4	5	0	19	70.6
平成25年度(予定)	10	8	5	2	25	88.9
平成26年度～27年度 (予定)	10	0	7	0	17	100.

学校施設の耐震化は、昭和56年以前に建てられた2階以上または延べ床面積が200㎡以上の施設が対象です。

これは、宮城県沖地震を教訓に昭和56年に建築基準法が改正され、昭和57年以降に建てられた建物は新耐震基準で建てられているため耐震性があります。

春日部市においては、対象棟数が153棟あり、第2次耐震診断の結果により耐震性の劣る建物74棟について計画的に耐震補強工事を実施しています。

平成25年度の小・中学校の耐震補強工事につきましたは、現在25棟の工事を進めております。

小学校校舎 10棟 小学校体育館 8棟

中学校校舎 5棟 中学校体育館 2棟

平成25年度中に耐震補強工事が終わらない建物は残り17棟となりました。平成27年度の完成目標に向け学校施設の耐震補強工事を実施して参ります。

耐震設計・工事決算額(H22からH24)

		設計委託		工 事	
		棟	円	棟	円
平成22年度	小学校校舎	0	0	1	59,262,000
	小学校体育館	0	0	1	42,945,000
	中学校校舎	0	0	1	56,595,000
	小学校体育館	0	0	0	0
	小 計	0	0	3	158,802,000
平成23年度		設計委託		工 事	
	小学校校舎	11	94,381,700	0	0
	小学校体育館	9	46,529,700	5	323,952,300
	中学校校舎	5	27,738,900	1	175,035,000
	小学校体育館	4	17,337,600	4	272,433,000
	小 計	29	185,987,900	10	771,420,300
平成24年度		設計委託		工 事	
	小学校校舎	19	149,553,600	10	1,171,222,500
	小学校体育館	8	59,759,700	4	293,002,500
	中学校校舎	8	68,240,200	5	503,454,000
	小学校体育館	2	13,113,222	0	0
	小 計	37	290,666,722	19	1,967,679,000
	合 計	66	476,654,622	32	2,897,901,300
	総 合 計			98	3,374,555,922

個人市民税の県内同規模市との負担額の比較 (市民1人当たりの金額)

○24年度＝春日部市 51,592円
 ○23年度＝春日部市 50,350円、上尾市 55,573円、草加市 56,371円、熊谷市 52,011円
 越谷市 57,327円

個人市民税は税金を負担する能力のある方が均等の額によって負担する「均等割」と前年の所得金額に応じて負担する「所得割」の2つに区分されています。

税率については、春日部市を含む埼玉県内全ての市町村において均等割を3,000円、所得割では6%の税率となっており、それぞれ標準税率を採用しており、春日部市が他の市に比較して高いというものではありません。

固定資産税の県内同規模市との負担額の比較 (市民1人当たりの金額)

○24年度＝春日部市 42,558円
 ○23年度＝春日部市 44,905円、上尾市 52,469円、草加市 57,546円、熊谷市 62,445円、
 越谷市 56,169円

春日部市の固定資産税の負担額が少ないのは、人口が多いにも関わらず、資産価値の高い市街化区域の割合が少なく、加えて課税額の低い住宅用地が多いため、結果的に負担額が少なくなる要因となっている。

風水害における災害対策本部設置実績

- 平成24年度 大雨警報に伴う対策本部設置3回、台風による設置2回
- 平成25年度 大雨警報に伴う対策本部設置5回、台風による設置3回
 竜巻に伴う設置1回
 事務局のみの配備「北朝鮮ミサイル発射警戒」4月5日～5月18日
 震度4の地震 1回

(H25年4月から現在まで)

活動アルバム



H25年4月 南桜井駅周辺整備完成式典



H25年4月 春日部藤まつり



H25年6月 増田新田で蛍の幼虫放流



H25年5月 藤塚米島線開通記念式典



H25年7月 エンゼルドームにクレヨンしんちゃん登場



H25年10月 ゆるキャラ ふじちゃんデビュー



H25年8月 春日部コミュニティ夏祭り



H25年 国保マスコット健康まもるくんと